敦賀市：北陸新幹線敦賀開業を契機とした脱炭素化へのパラダイムシフト

環境省

脱炭素先行地域の対象：**敦賀駅西地区・中心市街地集客施設・シンボルロード**
主なエネルギー需要家：商業施設10件、シンボルロード(アーケード)等34件、公共施設13件
共同提案者：北陸電力株式会社

取組の全体像

北陸新幹線敦賀開業を**産業・エネルギー政策転換の契機**と捉え、新幹線開業の象徴的エリアとなる駅西地区、中心市街地集客施設、シンボルロード等へ**卒FIT太陽光発電**や新設予定のごみ発電による再エネ電力を供給し、脱炭素化を実現。北陸電力、福井銀行と「**敦賀市脱炭素マネジメントチーム**」を結成し、省エネ要請等による需給調整や、環境意識の高い事業者等への**融資・補助一体型支援**などにより、中心市街地全体へ脱炭素化の取組を波及拡大。

1．民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

① 市内の**卒FIT太陽光発電**＊ (1,365kW)と新設予定の**ごみ発電** (1,600kW)を活用して再エネの**地産地消**を図る
＊北陸電力の買取価格に加え、T-Pointを交付することによって、インセンティブを付与
② 北陸電力・福井銀行と連携して「敦賀市脱炭素マネジメントチーム」を設立し、需給ひっ迫時における**省エネ要請などの需給調整**や、環境意識の高い事業者に対する再エネ設備導入を**融資・補助一体型**で支援し、脱炭素化を志向する事業者の集積を図る



2．民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① 将来に渡って安定的な物流の確保と脱炭素の両立のため、ドローン(5台)、EVトラック(2台)を導入する**スマート物流**を実装
② 水素ステーションにおいて、グリーン水素製造とFCV(4台)の運用を行うとともに、敦賀港の水素・アンモニアの受け入れ拠点化をはじめとした**CNP化** (カーボンニュートラルポート)を推進

3．取組により期待される主な効果

① 商店街を中心としたシンボルロード等の脱炭素化と敦賀港のCNP化を連携させることで、環境意識の高い事業者等の進出を促し、新しいサービスや雇用の創出により、**原子力発電に最適化された産業構造のパラダイムシフト**を図る
② 「敦賀市脱炭素マネジメントチーム」が、再エネ設備導入に対する融資・補助一体型支援や環境意識の高い事業者の進出への創業支援等を行うことで、脱炭素化の取組を**中心市街地の商業集積地区へ波及拡大**

4．主な取組のスケジュール

